



## 安い・高いの目安は 本当に「坪単価」?

——せっかくマイホームを建て  
るからには、他にはない自分達  
ならではの家を作りたいもの。  
とはいえ、オーダーメイド住宅は  
高つくつのでは……というイ  
メージもあり、いわゆるパッケ  
ジ住宅から予算内の家を選ぶ人  
も多いようです。

「家造りにはさまざまなスタイ  
ルがあります。カタログを見なが  
ら内装や広さの組み合わせを考  
え、パッケージで注文するという  
住宅メーカーでは一般的な方法  
が分かりやすく楽でいいという方  
もいるでしょう。もちろん、それ  
いいと思います。ただその際、お客  
様にあまり囚われすぎてはし  
くないのは『坪単価』という要素で  
す。その価格に坪数を掛ければ、  
住宅のおおよその値段が出る

いうもので、

メーカーでは一つ

の目安としてこれを

明記することも多いので

すが、はたしてその価格が

安ければ「いい買い物をした」

ということになるのでしょうか。

なぜ家を作ったかだったのか、そ

の家は何を求め、どんな空間を

作りたいのかによって必要な要素

は変わります。そういうものが積

み重なって値段が出た時に、お金

を出す価値があるかどうか、と

いうことではないでしょうか。こ

の『坪単価』の概念がなければ、

日本の家造りはずっと面白くな

るのではと僕は思います。です

からlia Styleにはその表示があり

ません。お客様の暮らし方に添

た空間をじっくり考え、その家族

だけの、ただ一つの最高の住まい

を設計する。一生に一度あるか

ないかの家造りだからこそ、一

隔月連載

# 造る喜び、 住まう喜び。

<http://www.fphome.jp/lia/>

## 家造りは チームワークだ!

職場で家庭でさまざまな責任を担う  
オト予備軍の30代。家を作ることを  
検討中の方もいるだろう。一生に一  
度の買い物だからこそ、後悔しない  
家造りしたいもの。いま、新しい家  
造りのスタイルで注目を集めるチ  
ーム、「lia Style」のチーフプロデ  
ューサー治部泰久さんにお話を伺った。



しぶ やすひさ  
治部 泰久さん

1973年生まれ、下川町  
出身。『lia Style』(株  
会社FPホーム)チーフ  
プロデューサー。「会  
話から始まる家づく  
り」をテーマに、新  
しい家づくりの  
スタイルを提案している。

取材協力 / lia Style (株式会社FPホーム)

に楽しみながら満足度の高い家  
を造って頂きたいんです。予算は  
もちろんある程度大切ですが、  
それに縛られすぎず、何に価値  
を置くかをまず第一に考えてみ  
てはいかがでしょうか

### 家造りを託す相手は 何を基準に選ぶか。

——家造りを託す相手を選定す  
るのは、本当に大変なこと  
です。メーカー選びに悩んで  
いる時、どんな点を大切に  
してくれる会社を選ぶと  
いいのでしょうか。

「担当者がお客様と時間を共  
有し、たくさんお話をしてく  
れる会社かどうか、というこ  
とをぜひ重視して頂きたい  
ですね。そこから見えてきた  
家族の生活スタイル、趣味、  
休日の過ごし方などをヒ  
ントにしながら、本当に必  
要で快適な空間、コストバ  
ランスまでトータルでとこ  
んろ考えられる相手にな  
るべく合つてほしいと思  
います。

また、「リビングは広めに」「窓  
は南向きに」といった従来  
の住宅業界の既成概念に囚  
われず、家族の暮らし方に  
添った空間を考え、土地  
の環境を活かした家を設  
計してくれることも大切  
なことではないでしょうか。  
家族にとって本当に心地  
よく快適な空間を突き詰  
めてみると、必ずしも大  
きな家は

必要なかったりする。むしろコ  
ンパクトでも、なんかいいだ  
よね…」と感じさせる家造  
りを私達は目指しています。  
もし敷地の北側に素敵な景  
色があれば、窓を北向きにつ  
けてしまおう。もちろん、そ  
れはお客様と一緒に楽しんで  
ながら設計していくわけです。

またlia Styleでは、土地探  
しも一緒にさせてもらって  
います。仮に一般的には条件  
が悪いとされる土地でも、  
プランニングを工夫するこ  
とで好条件に変えてしま  
うこともできます。その分、  
浮いたお金は家に回すこと  
もできる訳です。さらに、  
室内のデザインに合わせた  
オリジナルの家具を、チ  
ームの職人達が作っており、  
住まいとインテリアの一体  
提案をしています。土地探  
しからインテリアまで、家  
造りは、家主と施工側のチ  
ームワークが大切なので  
すから」

家をトータルのコストバ  
ランスで見る。そしてこれ  
までの既成概念をバツサリ  
と捨て去ることで、家造  
りはずっと楽しくなる。  
……これ、目からウロ  
コだった人もいます。!

次々号、連載第3回では、  
リノベーションについてお  
話を伺います。